先輩に贈る、ふるさとの香り-フジバカマの匂い袋-

秋の七草の一つ「フジバカマ」は、海を渡る蝶・アサギマダラが羽休めで好む花。この花を育 て、地域や他の学校との交流につなげる「虹プロジェクト」は、上野台中学校が2015年から 取り組む活動で、このプロジェクト始動にも携わったのが当時中学2年生だった今年の新成 人。以来、毎年アサギマダラが飛んできており、地域にもフジバカマを株分けをするなど、 「虹プロジェクト」はまさに上野台中学校と地域をつなぐ懸け橋となっている。 在校生と地域の 皆さんが、昨年に続きフジバカマの葉を匂い袋にして、新成人にふるさとの香りを贈った。



▲例年以上にフジバカマがよく育ち、 30 頭以 Fのアサギマダラが飛来(R3.9)



井上綺星さん 上野台中学校2年 (生徒会長)

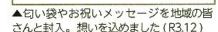
上野台中学校3年 (前生徒会長)

伝えたい、感謝の気持ち

「上野台中学校といえば、虹プロジェクト」と言 われるほどたくさんの人に知ってもらえて、学 校や生徒みんなにとって自慢の取り組みにな りました。先輩方がこのプロジェクトを始め、 つないできてくれたおかげ。フジバカマの香り で、故郷や母校を思い出してくれたら嬉しいで す。「虹プロジェクト」は、これからも私たちが つないでいきます。

▲フジバカマの葉で作ったポプリを、 2年生が一つずつ縫った匂い袋へ(R3.9)

志手原地域づくり協議会会長



届けたい、ふるさとの香り

上野台中学校から株分けをしてもらい、地域や家庭でもフジ バカマを育てています。今やアサギマダラの飛来は地域みん なの楽しみにもなりました。毎年この地域にアサギマダラが 飛んでくるように、一度三田を離れた新成人の皆さんも生ま れ育ったふるさとに帰り、活躍されることを願っています。